

第 23 回土木学会地球環境シンポジウムで災害ポテンシャル研究分野の成果を 発表しました(2015/9/2-4)

テーマ：地球環境シンポジウム
 場 所：北海道大学工学部

2015年9月2日～4日に、土木学会地球環境委員会主催の第23回地球環境シンポジウムが北海道大学工学部で開催され呉修一助教（災害リスク研究部門）が参加しました。地球環境シンポジウムは、地球温暖化、水災害、水質・大気環境問題、食糧・エネルギー問題等、非常に幅広い地球環境問題に関して発表・討議を行います。本シンポジウムでは、災害ポテンシャル研究分野の以下に示す研究成果が発表され、その成果が査読付き原著論文として土木学会論文集 G（環境）、Vol.71, No.5 に掲載されています。今後も災害科学国際研究所では、多くの研究成果を国内外に発信していく予定です。

第 23 回地球環境シンポジウムで発表された研究成果

M. Quiroga, S. Kure, K. Udo et al. : Application of a two dimensional flood model for defining evacuation zones for cattle in the Bolivian Amazonia

I. Moe, S. Kure, K. Udo, S. Koshimura et al. : Numerical simulation of the Jakarta flooding and evaluation of a counter measure to mitigate flood damage

道谷健太郎, 呉修一ら : タイ国 Chao Phraya 川流域における治水・利水・環境に配慮した大規模ダム貯水池の最適運用方法

（太字・下線が研究所教員）



発表会場の様子

文責：呉 修一（災害リスク研究部門）